



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュースNo.19

(2015年5月15日号)

〒101-0063東京都千代田区

神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

TEL:03-3526-2920

FAX:03-3526-2921

■「平和といのちと人権を！5・3憲法集会」に3万人が結集

5月3日、憲法記念日に横浜みなとみらい臨港パークで「平和といのちと人権を！戦争・原発・貧困・差別を許さない5・3憲法集会」が開かれました。この集会は、安倍政権が解釈改憲で集団的自衛権行使を可能にし、戦争をする国づくりを進めようとする中、作家の大江健三郎さんや瀬戸内寂聴さん、歌手の小室等さん、ジャーナリストの鳥越俊太郎さんらが呼びかけ人となり、集会実行委員会の主催で開催されました。



3万人が結集して会場を埋め尽くした（写真=今井明）

冒頭にプレコンサートとして、大島花子さんの歌、岡大介さんのカンカラ三線、ハルノトモの和太鼓の演奏が行われました。晴天の下、芝生の広い会場は約3万人の市民などで埋め尽くされました。

13時30分からのメインステージは女優の木内みどりさんの司会で進められました。呼びかけ人のアピールでは、作家・活動家の雨宮処凜さんが、「戦争に必要なのは大量の貧しい人達だ。いま、貧困と戦争への道が同時に進んでいる。経済のために命が捨てられることに反対していこう」と訴え、作家の大江健三郎さんは、「安倍はアメリカで安保法制を進め、憲法を変えろと言ったが、日本人々は賛同していない。はっきりと声をあげていこう」と呼びかけました。

さらに、作家の澤地久枝さんは、「安倍首相とその周りにいる人々は、利潤を追求し、間違った政治を進めている。あの人達を引きずり下ろしてやりたい」と声を高め、憲法学者の樋



雨宮処凜さん



大江健三郎さん



澤地久枝さん



樋口陽一さん



香山リカさん



落合恵子さん



各政党の代表がアピール

口陽一さんは、俳優の菅原文太さんが生前、最後に沖縄知事選の応援で語った「政治の最大の役割は戦争をしないこと」を引用し、『日本を取り戻そう』などという勝手なスローガンに惑わされてはならない」と強調しました。

精神科医の香山リカさんは、「時代は変わっても平和は真理だ。今の憲法を使い尽くしていない。そんな政権が憲法に手をつける資格はない」と断じました。最後に作家の落合恵子さんが、「安倍の言う『積極的平和主義』は『積極的戦争主義』だ。しかし、絶望から希望に橋渡しをするのが私たちの責任だ」と訴えました。



ヘリコプターに向かってアピール（写真=今井明）

各政党の代表として、民主党の長妻昭代表代行、日本共産党の志位和夫委員長、社民党の吉田忠智党首、生活の党と山本太郎と仲間たちの主濱了副代表から、政府・与党が進めている戦争法案（安保法制）に反対し国会審議で闘い抜く決意が表明されました。さらに、山本太郎さんがヘリコプターに搭乗して上空から中継することが紹介され、参加者はヘリコプターに向かって手を振りアピールしました。

また、辺野古新基地建設問題で緊迫する沖縄からの発言として、基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表の高里鈴代さんが、「沖縄は平和憲法の下に日本に復帰したが、憲法など無いような状況だ。辺野古基地建設は絶対に許さない」と連帯を訴えました。



高里鈴代さん

その後、様々な市民団体などがリレートークを行いました。毎年、国連欧州本部を訪ねて核の廃絶を訴えている高校生平和大使から3人が登壇し、『微力だが無力ではない』をスローガンにこれからも活動を続けていきたい」と決意を語りました。また、原発問題でも、福井と福島から再稼働問題や原発事故被害の報告と訴えが行われました。さらに、集団的自衛権、特定秘密保護法、歴史認識、教科書問題、貧困や労働問題、女性問題などでも発言が相次ぎました。



様々な市民団体の代表がリレートーク

最後に実行委員会から、戦争法案の審議での国会包囲など今後の行動が提起され、参加者全員で“憲法イエス”“改憲ノー”とコールを行いました。クロージングコンサートとして、クミコさんの歌や、こぐれみわぞうさんのロックチンドンが流れる中、参加者はこれからの奮闘を確認し合い、集会は閉会しました。

■日米ガイドライン改定・戦争関連法制定反対！ 4.27 官邸前行動

4月27日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、首相官邸前で「日米ガイドライン改定・戦争関連法制定反対！安倍政権の憲法破壊を阻止しよう！ガイドライン改定に反対する4.27官邸前行動」を開き、市民など約800人が参加しました。

はじめに、1000人委員会呼びかけ人の福山真劫さんがあいさつを行い、「安倍の暴走が止まらない。今や戦後最大の民主主義の危機だ。アメリカの意図は、日本の自衛隊が米軍の手足になって戦うことだ。今年には戦後70年だが、村山談話や河野談話を空洞化し、歴史認識を修正しようとしている。1000人委員会は全国の仲間とともに全力で闘う」と力強く訴えました。

日本弁護士連合会憲法問題対策本部長代行・山岸良太さんは、「戦後、日本人が海外に行って戦争をしなかった、一人の人も殺していない。これは憲法9条があったからだ。日弁連では、皆さんとともに安保安法に反対していく」と述べました。

民主党代表代行・長妻昭衆院議員は、「今この官邸の主はアメリカにいる。まだ日本の国会で安全保障法制の議論がされていないのに、アメリカで日米ガイドライン改定を行うのか。国会軽視・国民軽視だ。日本は煽ったナショナリズムをコントロールできなくなったのが70年前の反省だ。昭和8年から日本の教科書が右寄りになり、その後マスコミが政府批判を自粛するようになった。今の状況と似ているのではないか。一人一人が声を上げて主張しなければこの動きは止まらないだろう。勝負の時が来ている。これから国会で安全保障法制の議論が行われるが、強行採決をさせないために体を張って止めていきたい。共に頑張りましょう」と呼びかけました。



日米ガイドライン改定に反対の声を上げた（首相官邸前）



長妻昭衆院議員



シュプレヒコールを上げる参加者（首相官邸前）

1000人委員会事務局長代行の清水雅彦さん（日本体育大学教授）は、「今回のガイドライン改定は、憲法9条に反するだけでなく日米安保条約にも反する暴挙だ。安倍首相の祖父・岸信介首相は1960年に安保条約改定を強引に行ったが、国民の闘いによって政権から引きずり降ろされた。我々もこれからの闘いで安倍首相を政権から引きずり降ろさなければならぬ」と述べました。

沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック事務局長・木村辰彦さんは、「安倍政権は沖縄県民の声を一

顧だにすることなく、辺野古基地建設を強行している。陸上では警察権力、海上では海上保安庁、さらに法律をねじ曲げて圧政を行う国家権力に対して島ぐるみで闘ってきた。沖縄県民は絶対に屈しない。5月24日に辺野古新基地建設反対の国会包囲行動を行う。皆さんのご結集をお願いしたい」と強く訴えました。

また、戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センターの吉田万三さん、さらに、民主党、共産党など野党国会議員が、集団的自衛権の行使容認の閣議決定撤回や、日米ガイドライン改



高田健さん

定・戦争関連法案の阻止、沖縄・辺野古新基地建設反対などを訴えました。

最後に、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんが、「今この時間に、ワシントンでは日米ガイドライン再改定の調印がなされようとしている。これを絶対に許さないために今日は官邸前に集まった。総がかり行動実行委員会は、戦争法制を阻止するために5月から全力で闘う決意だ。安倍政権の暴走を許さず戦争法制を許さないために、安倍内閣を揺さぶって、総がかりで闘っていききたい」と力強くアピールしました。



木村辰彦さん

■ 5・2埼玉大集会

戦争をさせない埼玉県1000人委員会は5月2日、春日部市民文化会館で「戦争をさせない5・2埼玉大集会」を開き、市民など約1000人が参加しました。

アトラクションでは、ピン芸人の松元ヒロさんが「憲法くん」などを熱演し、「この68年間、たった一度も戦争の名の下に人を殺したことはない。現実と憲法が合わないなら、政府を変えるのだ！」と力強く訴えかけました。



埼玉県1000人委員会の呼びかけ人らがアピール（春日部市民文化会館）

続いて、社民党の福島みずほ参議院議員があいさつを行い、4月1日の国会質問で自民党から削除要請を受けたことについて、『戦争法案』と『鉄面皮』という発言について削除要請があったが、なぜ野党の発言が与党の検閲を受けなければならないのか。自衛隊を我が軍



「憲法くん」を演じる松元ヒロさん

とやっている人から言われる筋合いはない。削除要請に応じたらその言葉は一切使えなくなってしまう。これは言葉狩りだ。いつか国会で戦争反対と発言したら削除される日が来るかもしれない。戦争する法案を『戦争法案』

と言って何が悪いのか。安倍首相、あなたの上に憲法があるのであって、あなたの下に憲法はない」と自民党の削除要請について強く批判しました。

続いて、1000人委員会呼びかけ人であり、ベストセラー「世界がもし100人の村だったら」の著者で翻訳家の池田香代子さんが、「戦争への道はデマで敷き詰められている」と題して講演を行い、「表現の自由と



池田香代子さんらを先頭にパレード

は、私たちが自由な意見を政府に対して言うことが第一義だ。安倍さんは『私にも表現の自由がある』と言ったが、全くお門違いだ。それは安倍首相に対して言う言葉であり、全く憲法を理解していない。ガイドラインは日本語と英語を比べなければならない。外務省が日本語の表現をごまかす場合があるからだ。例えば、97年のガイドラインでは「オペレーション」は活動と訳されていたが、今回のガイドラインでは「作戦」と訳している個所がある。外務省は隠すことなく戦争する気満々なのだろう。戦争法案の審議が始まったら国会前に行こうと思う。私たちが時代の責任を背負って抗議の声を上げよう」と訴えました。

集会後に参加者は、池田香代子さん、福島みずほ参議院議員を先頭に「戦争法案反対！憲法を守れ！」とシュプレヒコールをしながらパレードを行いました。

池田香代子さん（翻訳家） 君が代を歌うとき、最初の一文字だけ「き」を「た」に変えましょう。あら不思議、主権在民の歌になるではありませんか。君が代を歌う場面に立ったら、「き」の口をして「た」と発音する練習をしておきましょう。私たち民衆は必死に抵抗していくのです。

私の尊敬する愛川欽也さんが亡くなりました。愛川さんとは晩年に親しくさせていただきましたが、「僕はいつでも上着の胸ポケットに憲法を入れてるんだよ」と言って憲法の小冊子を見せてくれました。「アド街ック天国」、「なるほどザ・ワールド」の時もいつも入れておられたそうです。福島原発のことも最後まで心配して亡くなりました。意志を継いで子どもたちによりよい世界を引き渡さないといけません。



積極的平和主義の正体は「先制攻撃平和主義」

Equality という英語があります。平等という意味ですが霞ヶ関のお役所では使いません。均等とか、最近では均衡と言います。均衡は Balance で、Equality ではありません。均衡とはバランスが取れているのが良いということですから、女性がこれくらいで、男性がこれくらい、それでバランスが取れているという言い方になっているのです。共同参画というの、英語を見ると Equality と書いてあります。でも男女平等参画とは言わない。そうやって私たちの意識を、見えないところで不断にコントロールしようとしているのです。

沖縄の辺野古の例では、メディアが「辺野古移設」と言っているのをついで使ってしまいますが、沖縄県に行くと「移設」という言葉は使いません。「辺野古新基地建設反対」と言います。移設というのが最初に出てきたのは 96 年の外務省の公文書だったと思いますが、その英語を見ると Replacement という言葉です。会社員の転勤も Replacement です。移設という言葉は外務省が初めて作った日本語訳です。嘘だと思ったら古い辞書を調べてみてください。移設という言葉はありません。ところが新しい辞書には載っています。その例文は“飛行場を移設する”だけです。そこにしか使われていないのです。

一番ゆゆしいと思うのは、積極的平和主義という言葉です。第二次世界大戦後に平和学という学問ができて、その中で「積極的平和」という言葉は大切に育まれてきました。単に戦争をしていないだけでなく、内戦や差別のような構造的暴力のない状態を言います。それを積極的平和と名付けました。これを英語にすると Positive peace です。ところが安倍さんが言い出した積極的平和主義は、積極的平和に「主義」がついただけですが、英語だと全然違う言葉で、Proactive contribution to peace になります。to peace は平和のために、contribution は貢献、そして問題は Proactive です。人や環境のせいにならず、自分の中からわきでてくる倫理性ということ Proactive と言います。この単語の Pro というのはあらかじめという意味で、active は行動するという意味です。つまり、直訳すると「あらかじめ行動して平和に貢献する」という意味で、言わば「先制攻撃平和主義（攻撃は最大の防御なり）」という意味になります。これが積極的平和主義の正体です。言葉狩りは見えないところでじわじわと毎日行われている、そういう怖さがあるということです。

■みなさんからのメッセージ

— 5月3日の憲法集会は、お天気に恵まれて本当に良かったですね。安倍政権の在り方に危機感を抱きながらも、自分の気持ちを表す場がなく、イライラしておりました。このような場を設けて頂きありがとうございました。それにしましても、3万人超の人々が集ったということは驚きでした。壮観でした！また、多くの方が同じ思いであることを知り、心強くもなりました。行動予定が目白押しですが、行けるだけ行こうと思っております。皆様のご努力に心から感謝申し上げます。



5・3 憲法集会に結集した参加者（写真＝今井明）

— 子どもたちに 安心な未来を のこしたい 心こめて

— 一日も早く安倍の暴走をストップし、以前の平和な日本に戻りたいです。日本が戦争に巻き込まれませんように。憲法が改悪されませんように。国民がこの危機に一人でも多く、一日も早く目覚めますように。

「大阪都構想」は改憲への一里塚！ 必ず反対の投票を！

5月17日、大阪市では「大阪都構想」を問う住民投票が行われます。しかし、これは単なる自治体行政の問題ではなく、憲法改「正」に向けた動きと一体のものです。この危険性を指摘するコメントを、社会文化法律センター共同代表の五百蔵洋一さんからいただきました。

「憲法改正国民投票」の予行演習がすでに始まっていることを、皆さんはどこまでご承知でしょうか？ 「大阪都構想」の住民投票です。東京ではマイナーな話題でよく知られておらず、大阪ローカルの問題であるという誤解があります。たしかに、投票そのものは大阪市を解体して5つの特別区にしようという「大阪都構想」を問うものです。これ自体大阪市の自殺行為であり問題ですが、その内容の問題にとどまらず、手続きにも問題があります。この住民投票は「大都市特別区設置法」という法律に基づいて行われます。200万人以上の政令指定都市が市を廃止して特別区に改編する場合、有権者の投票で決定されます。賛成が1票でも多かった場合、2年後に大阪市は5つの特別区に解体され、「大阪府」となります。その時名前が変われば、「大阪都」になるということです。一方で、反対が1票でも多ければ、現状のままとなります。「大都市特別区設置法」は、投票運動について定めています。普通の選挙に適用される公職選挙法は、厳しくやってはいけないことが規定されていますが、「大都市特別区設置法」の下での投票は、国民投票法と同様に何をやっても良いという、自由な法律なのです。例えば、事務所の数の制限もありません。投票運動費用の上限もありません。ポスターもいつでも出せます。事前運動も自由です。テレビコマーシャルも自由です。ふと考えると、これは「国民投票法」とほとんど一緒なのです。まさしく、4月13日から210万人の有権者の下で、「国民投票」の予行演習が始まっているということを理解してください。

この「大阪都構想」に自民党大阪府連は猛反対していますが、安倍首相はこれに賛成しています。つまり、これで大阪維新の会（維新の党）が勝てば、憲法改「正」のための3分の2を占める勢力として一体のものになれるという目論見なのです。また、今回は反対している自民党大阪府連は、憲法改「正」では改「正」運動の先頭に立ちます。自民党はどちらに転んでも憲法改「正」運動のノウハウを手に入れます。その意味で、大阪での住民投票が、じつは安倍政権による憲法改「正」の一里塚となるような状況にあるのです。全国の皆さんに、いますでに「憲法改正国民投票法」の予行演習が行われているということを認識していただきたいと思います。その上で、この危険な動きをストップさせるべくご協力をお願いします。

五百蔵洋一（弁護士、社会文化法律センター共同代表）

■集会・活動スケジュール

5月15日時点での予定です。日程変更や緊急の行動呼びかけをさせて頂くことがあります。行動の詳細は1000人委員会ホームページまたは、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のウェブサイト <http://sogakari.com/> をご覧頂くか、事務局までお問い合わせください。

- 5月 19日(火) 18時00分～ 「戦争法案」を葬ろう 5.19院内集会
場 所：参議院議員会館一階 講堂
講 師：水島朝穂さん(早稲田大学教授)
主 催：立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会
※入場無料、参議院議員会館入口で入館証を配布します
- 5月 21日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(毎週木曜日連続行動第1回)
場 所：衆議院第2議員会館前
- 5月 24日(日) 14時00分～ 辺野古新基地建設反対！国会包囲行動 場 所：国会周辺
主 催：「5・24首都圏アクションヒューマンチェーン」実行委員会
- 5月 25日(月)～26日(火) 沖縄県上京団国会座り込み要請行動 場 所：国会周辺
- 5月 28日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第2回)
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 4日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第3回)
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 11日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第4回)
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 14日(日) 14時00分～ 戦争法案反対全国集会(国会包囲行動)
場 所：国会周辺
- 6月 15日(月)～24日(水) 10時00分～17時00分(20日(土)、21日(日)除く)
戦争法案反対・国会前連続座り込み行動
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 18日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第5回)
場 所：衆議院第2議員会館前
- 6月 24日(水) 昼から連続 戦争法案反対全国大集会(国会包囲行動は18時30分～)
場 所：国会周辺

以降、未定 ※随時更新します

<事務局からのお願い>

各地域で活動されている皆さんの取り組み、1000人委員会の立ち上げ、賛同者の皆様のメッセージなどを掲載します。事務局へ手紙、FAX、メールでお寄せください。紙面の都合上、掲載しきれない場合はご了承ください。